

自立活動だより

紀北支援学校自立活動部

令和3年12月発行

12月号の自立活動だよりは、中学部の1ブロックより1年生と2年生、2ブロックの1年生の自立活動の取組について紹介します。

今年度の中学部には1ブロック49名、2ブロック14名の生徒が在籍しています。(令和3年12月1日現在)授業形態は、子どもの実態や目標に応じて個別または小集団で行い、活動内容も様々です。個人のねらいは自立活動の内容に関連づけて考えています。



【1ブロックの取組】

1年生Aさんの事例

*ねらい

『人間関係の形成』

・気持ちを落ち着かせる方法を身につける。

『コミュニケーション』

・自分の気持ちや思いを相手に分かりやすいように伝えることができる。

*活動内容

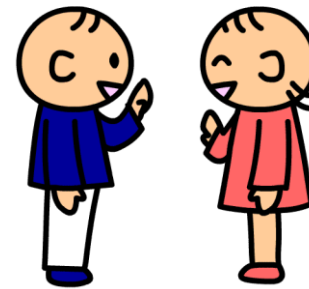
一つのことごとにも気になってしまったり、うまく自分の気持ちを伝えられなかったり、不安を感じてどうしていいか分からなくなってしまう時に、その時の気持ちや考え等を思いつくまま自由に話をしてもらい、その言葉をホワイトボードに書きとめるようにしました。そして、それを見ながらやりとりをする中で、自分の気持ちや考えを客観的に見つめたり、伝えたいことを整理したり、大切なポイントに気がつけるようにしました。そして、周りの人に伝えたいことについて考えをまとめるようにしました。

*経過・成果

Aさんとじっくりと向かい合い、いろいろと話をすることで、Aさんが“次からはどうすればいいか、また周りの人にどうしてもらいたいか”についての答えを自分で見つけ出すことができるようになりました。また、課題となる点に関しても「これはあかん」と気がついて、より良いやり方に変更することもできました。そして、これを繰り返し行う中で「自分でできた・分かった」という気持ちを持つことができました。なにより、この取り組みを進めていく中で、不安を感じて気持ちを乱してしまう前に落ち着きを取り戻せるようになってきて、前向きな発言が増えたり、次の活動に気持ちよく取組もうとする姿が多く見られるようになってきました。



【2ブロックの取組】



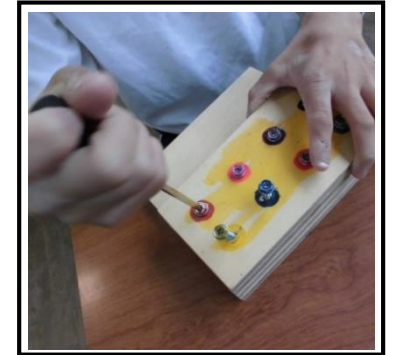
*経過・成果

①は4、5月頃はボルトの途中で巻くことをやめてしまうことが多かったのですが、最後まで回すように手本を見せて取り組むことで、今ではこれ以上回らないところまで回して取り付けています。

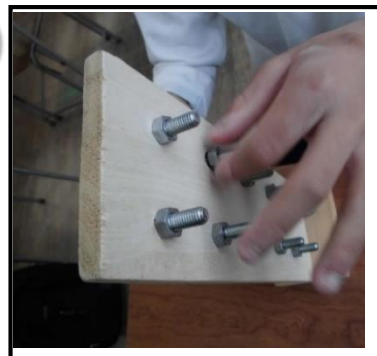
②は今までドライバーを使った経験はなかったようで、初めは金槌で釘を打つようにねじの頭にドライバーの先を振り下ろして留めようとしました。そこで、ねじ留めの仕方を介助しながら一緒に取り組む活動を繰り返し行いました。しかしながら、ねじ留めの活動は、ドライバーをねじの頭に差し込んで回すだけではなく、上から下へ押さえる力を入れることも必要なので、なかなかうまくできませんでした。それでも繰り返し取り組むことで2つの力の入れ具合のコツをつかみ、今では上手に根元までねじ留めすることができるようになりました。

今後もいろんな部品や道具を使う経験を積むことで、手指の操作性を高めるとともに生活上で扱うことができる活動を増やせていければと考えています。

②



①



2年生Bさんの事例

*ねらい

『身体の動き』

・手指の操作性を高めるとともに生活上で扱うことができる活動を増やす。

*活動内容

①は穴を開けた板にボルトを差し込み、板からはみ出たところにナットを取り付けます。Bさんは右利きなので右手でボルトを持って板に差し込み、左手でナットをつまんで回して取り付けています。その時ボルトが回らないように右手の親指、人差し指、中指で押さえています。②はドライバーを使ってねじ留めをします。ねじの頭、ねじ留めをする穴のまわりにマジックで色を付けに、同じ色のところにねじを差し込んでねじ留めをするようにしています。

3年生Cさんの事例

*ねらい

『身体の動き』

・身体の拘縮や変形の進行を予防する。

・移動手段として電動車椅子を操作し、行きたい方向へ安全に操作できるようにする。

『人間関係の形成』

・身近な人と関係を築き、信頼関係を基盤としながら周囲の人とのやりとりを広げていく。

『コミュニケーション』

・コミュニケーション手段を活用することで、相手の意図を受け止めたり自分の思いを伝えたりできるようになる。

*活動内容

・胸郭を緩める体操や身体の拘縮や変形の進行を予防する体操に継続して取り組む。

・自分の気持ちや要求を、伝えることができる手段(発声、視線、頷き、文字入りイラストカード等)を活用して伝える。

・見守りのもと、安全面に注意して電動車椅子の操作をする。

*経過・成果

登校後、バイタルチェックを行った後、身体の拘縮や変形を予防するための体操をしています。「体操しようか？」の言葉がけに「うん！」と笑顔で頷く姿が印象的です。苦手の姿勢の体操もありますが「1. 2. 3... 10」と数唱しながらがんばっています。

自分の気持ちや要求を伝えるため、文字入りイラストカードを活用しています。伝えたいことが出てくると視線でカードの方を見て示すだけでなく、「カード!」としっかり言葉にして、カードを通じて伝えたいことがあるということを教師に意思伝達できるようになってきました。また、カードを通じてやりとりし、昼休憩の過ごし方について「電動車椅子で」「誰のところへ行きたい」や「絵本を」「誰と読みたい」等を伝え、行動に移しています。もちろん朝の会での返事、先生を呼びたい時など、発声でしっかり表現することもがんばっています。

電動車椅子は10月に新調したばかりです。操作レバーの仕様が変わり、最初は不慣れな様子でしたが、少しずつ慣れ、上手に操作できるようになってきました。「停まる」という言葉がけを聞いて停まることもできるようになってきていて、意欲的に電動車椅子を操作する姿がみられます。